



Since1924

# 令和3年度 (2021年度)

## 事業報告書

第1	法人の概要	P2～
第2	事業の概要 (事業報告書)	P9～
第3	学校教育計画、学校評価 及び 外部評価委員会 の概要	P18～
第4	財務の概要 (計算書類、財産目録、経年比較表)	P24～
第5	監事監査報告書	P34
第6	中長期計画 SHOYO NEXT 10 YEARS [ 22-27 PLAN ]	P35～41

学校法人 淀之水学院

昇陽中学校・昇陽高等学校

2022. 6. 17

## 第1 法人の概要

### 1. 法人の設立

法人の名称	学校法人 淀之水学院
法人の住所	〒554-0011 大阪市此花区朝日一丁目1番9号
電話番号	06-6461-0091
設立	1924年(大正13年)3月27日 大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」 設立 創立者 吉川竹三郎
	大正14年2月21日 高等女学校令による淀之水高等女学校として設立を認可され 大阪市此花区西島町に校地を移転する。小泉幸治 校長に就 任する。
	昭和4年4月1日 吉川芳三郎 校長に就任する。
	昭和14年2月1日 安藤利三郎 校長に就任する。
	昭和14年11月26日 講堂(594㎡)建設工事竣工する。
	1944年(昭和19年)5月2日 財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に 就任する。
	昭和22年4月1日 学制改革により淀之水中学校を併設する。
	昭和23年4月1日 大阪府知事より淀之水高等学校設立を認可される。
	昭和24年4月1日 大阪市此花区嬉ヶ崎町一番地に新校舎完成移転を完了する。 第1期工事
	昭和25年4月15日 夜間部開設授業を開始する。
	1951年(昭和26年)3月8日 財団法人淀之水高等学校を学校法人淀之水学院に組織変更し 認可される。木村幸次郎理事長に就任する。

(以後、記載を省略)

建学の精神 「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、 めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりを旨とする。

校訓 清純 質実

中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
- 2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。
- 3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
- 4 学び連携できる教員集団

## 2. 学校法人・学校の沿革

## (1) 1924年3月学校設立からの沿革

1924年	大正13年3月27日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」設立 創立者 吉川竹三郎
1925年	大正14年2月21日	高等女学校令による淀之水高等女学校として設立を認可され大阪市此花区西島町に校地を移転する。小泉幸治 校長に就任する。
1929年	昭和4年4月1日	吉川芳三郎 校長に就任する。
1939年	昭和14年2月1日	安藤利三郎 校長に就任する。
1939年	昭和14年11月26日	講堂(594 m <sup>2</sup> )建設工事竣工する。
1944年	昭和19年5月2日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任する。
1947年	昭和22年4月1日	学制改革により淀之水中学校を併設する。
1948年	昭和23年4月1日	大阪府知事より淀之水高等学校設立を認可される。
1949年	昭和24年4月1日	大阪市此花区嬉ヶ崎町一番地に新校舎完成移転を完了する。第1期工事
1950年	昭和25年4月15日	夜間部開設授業を開始する。
1951年	昭和26年3月8日	財団法人淀之水高等学校を学校法人淀之水学院に組織変更し認可される。 木村幸次郎理事長。
1952年	昭和27年10月24日	第2期校舎増築工事竣工(講堂・特別教室・図書室)
1954年	昭和29年7月25日	第3期校舎増築工事竣工
1954年	昭和29年12月1日	私学法施行五周年記念式典が大阪府庁で挙行政務次長木村幸次郎私学振興功 労者として大阪府知事より表彰される。
1957年	昭和32年4月1日	中学校募集停止。
1957年	昭和32年6月22日	学校法人淀之水学院理事長木村幸次郎 急逝。
1957年	昭和32年7月26日	木村晃 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
1959年	昭和34年2月18日	旧南館 第4期工事鉄筋コンクリート三階建(1,221 m <sup>2</sup> )竣工する。
1963年	昭和38年1月30日	阪神電車、千鳥橋・西九条間延長のため校地南側を売却、代わりに西側の私有地 (1,525 m <sup>2</sup> )買収完了する。
1963年	昭和38年11月30日	南西館 第5期工事鉄筋コンクリート三階建(2,904 m <sup>2</sup> )竣工する。この工事のため 第3期1954年竣工の校舎取壊し。
1964年	昭和39年7月14日	高架下館 附属校舎鉄骨二階建(983 m <sup>2</sup> )竣工する。
1965年	昭和40年3月30日	北館及び体育館 第6期工事鉄筋コンクリート四階建(3,406 m <sup>2</sup> )竣工する。こ の工事のため第2期1952年竣工の校舎取壊し。
1965年	昭和40年5月26日	創立40周年記念式典を挙行政。
1966年	昭和41年10月17日	安藤利三郎 名誉校長に就任する。
1966年	昭和41年10月17日	村田貞雄 校長に就任する。
1968年	昭和43年4月1日	商業科を設置する。
1971年	昭和46年7月20日	吉田 定 校長に就任する。
1974年	昭和49年10月23日	創立50周年記念式典を挙行政。
1978年	昭和53年3月1日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635 m <sup>2</sup> )竣工する。(商業教室 図書館等)こ の工事のため第1期1949年竣工の校舎取壊し。
1984年	昭和59年2月17日	新体育館兼講堂並びに食堂(2,323 m <sup>2</sup> )竣工する。この工事のため第6期1965年 竣工の旧体育館取壊し。
1984年	昭和59年10月27日	創立60周年記念式典を挙行政。
1989年	昭和64年1月1日	鶴巻榮二 校長に就任する。
1993年	平成5年1月29日	学校法人淀之水学院理事長木村晃 急逝。
1993年	平成5年2月10日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
1994年	平成6年4月1日	普通科に普通コース・英語コース、商業科に商業コース・情報コースを設置。
1994年	平成6年11月18日	創立70周年記念式典を挙行政。

1998年	平成10年4月7日	1959年竣工の旧南館 第4期工事鉄筋コンクリート三階建 取壊し
1999年	平成11年3月16日	新南館(4,343㎡)竣工する。
1999年	平成11年4月1日	福祉科を設置する。
2001年	平成13年4月2日	福祉科訪問介護員養成研修講座(2級課程)を設立する。
2004年	平成16年4月1日	商業科の募集停止。
2004年	平成16年4月1日	普通科に総合(進学・一般)コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コースを設置する。
2004年	平成16年12月1日	創立80周年記念式典を挙げる。
2005年	平成17年3月31日	商業科廃止。
2005年	平成17年4月1日	普通科に特進・国際コース・標準コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2005年	平成17年5月24日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長・理事・評議員を解任。
2005年	平成17年5月24日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2006年	平成18年4月1日	普通科標準コースに製菓分野を新設する。
2007年	平成19年4月1日	普通科に特進コース・標準コース・パティシエコースを設置する。
2009年	平成21年3月30日	大阪府知事より淀之水学院昇陽中学校設立を認可される。
2010年	平成22年4月1日	学校名を昇陽中学校、昇陽高等学校に変更する。
2010年	平成22年4月1日	普通科の特進・標準(進学)コースのみ男女共学とする。
2011年	平成23年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・パティシエコース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2012年	平成24年4月1日	高校全コース男女共学とする。
2013年	平成25年1月1日	鶴巻榮二 学院長に就任する。
2013年	平成25年1月1日	小野昌弘 校長に就任する。
2014年	平成26年10月29日	創立90周年記念式典を挙げる。
2015年	平成27年3月30日	東館(3,587㎡)竣工する。
2015年	平成27年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2015年	平成27年8月25日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635㎡) 耐震改修工事完了する。(商業教室 図書館等)
2015年	平成27年12月20日	1965年竣工の北館及び体育館 第6期工事鉄筋コンクリート四階建取壊し
2016年	平成28年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・公務員チャレンジコース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2018年	平成30年4月1日	竹下健治 校長に就任する。
2019年	平成31年1月23日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長を退任。
2019年	平成31年1月24日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2020年	令和2年1月30日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656㎡
2020年	令和2年4月1日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200㎡
2020年	令和2年4月1日	普通科にITフロンティアコース、進学Ⅱ・Ⅲを設置する。
2020年	令和2年11月17日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長は理事に戻る。
2020年	令和2年11月18日	竹下健治 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2020年	令和2年12月16日	南西館耐震改修工事完了
2021年	令和3年1月22日	城山体育館耐震改修工事完了

(2) 設立者と歴代理事長

1924年	大正13年3月27日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」設立 創立者 吉川竹三郎
1944年	昭和19年5月2日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任する。
1951年	昭和26年3月8日	財団法人淀之水高等学校を学校法人淀之水学院に組織変更し認可される。 木村幸次郎理事長。
1957年	昭和32年6月22日	学校法人淀之水学院理事長木村幸次郎 急逝。
1957年	昭和32年7月26日	木村晃 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
1993年	平成5年1月29日	学校法人淀之水学院理事長木村晃 急逝。
1993年	平成5年2月10日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2005年	平成17年5月24日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長・理事・評議員を解任。
2005年	平成17年5月24日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2019年	平成31年1月23日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長を退任。
2019年	平成31年1月24日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2020年	令和2年11月17日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長は理事に戻る。
2020年	令和2年11月18日	竹下健治 学校法人淀之水学院理事長に就任する。

(3) 歴代校長

1925年	大正14年2月21日	高等女学校令による淀之水高等女学校として設立を認可され大阪市此花区 西島町に校地を移転する。小泉幸治 校長に就任する。
1929年	昭和4年4月1日	吉川芳三郎 校長に就任する。
1939年	昭和14年2月1日	安藤利三郎 校長に就任する。
1966年	昭和41年10月17日	安藤利三郎 名誉校長に就任する。
1966年	昭和41年10月17日	村田貞雄 校長に就任する。
1971年	昭和46年7月20日	吉田 定 校長に就任する。
1989年	昭和64年1月1日	鶴巻榮二 校長に就任する。
2013年	平成25年1月1日	鶴巻榮二 学院長に就任する。
2013年	平成25年1月1日	小野昌弘 校長に就任する。
2018年	平成30年4月1日	竹下健治 校長に就任する。

(4) 寄附行為の変遷

理事会日	申請・届	認可日	施行日	寄附行為の変更内容	理事長名
昭和	25. 12. 27	26. 3. 8	26. 3. 8	財団法人淀之水高等女学校から学校法人淀之水学院に組織変更の認可 第32か条	木村幸次郎
昭和 40. 6. 22		40. 7. 15	40. 7. 15	第7条 学院長の設置	木村 晃
昭和 41. 9. 14	42. 7. 1	42. 7. 22	42. 7. 22	第3条～第8条、第14条、第18条、第30条	木村 晃
昭和 41. 9. 14	42. 9. 5	42. 12. 12	42. 12. 12	第4条 淀之水中學校を抹消	木村 晃
昭和 51. 8. 2	51. 9. 1	-	51. 9. 1	第2条 住所表示の変更	木村 晃
昭和 59. 2. 25	59. 3. 1	59. 3. 13	59. 3. 13	第5条、第6条、第14条理事5人以上8人以下を、8人以上10人以内に変更	木村 晃
平成 4. 3. 24	4. 5. 6	4. 5. 18	4. 5. 18	第5条、第6条、第14条理事8人以上10人以下を、5人以上8人以内に変更	木村 晃
平成 9. 3. 26	9. 4. 11	9. 5. 16	9. 5. 15	第6条 4号理事1名を3号理事に移行	木村 敏
平成 17. 2. 8	17. 3. 31	17. 3. 31	17. 4. 1	第3条～第38条 私立学校法の一部改正	木村 敏
平成 20. 2. 4	20. 2. 8	20. 3. 31	20. 4. 1	第4条 商業科を削除	鶴巻榮二
平成 20. 5. 23	20. 6. 17	20. 6. 24	20. 6. 24	第16条 評議員8人以上11人以下を、11人以上17人以内に変更	鶴巻榮二
平成 21. 2. 17	21. 3. 6	21. 3. 30	21. 4. 1	第4条 淀之水学院昇陽中学校の新設置	鶴巻榮二
平成 21. 7. 7	21. 7. 7	-	22. 4. 1	第2条、第4条、第6条、第19条 昇陽中学・昇陽高校に名称変更	鶴巻榮二
令和 02. 1. 29	02. 2. 14	02. 3. 4	02. 4. 1	第6条から第38条までのうち22カ条の一部改正及び6カ条の新設 私立学校法の一部改正	木村嘉子
令和 03. 11. 4	03. 11. 8	03. 12. 24	04. 1. 1	第9条の2の新設、第10条の一部改正、第20条の一部改正	竹下健治

(5) 周年記念式典

日時		曜日	六曜	周年
1965年 5月 26日	昭和40年 5月 26日	水曜日	大安	創立40周年記念式典を挙行。
1974年 10月 23日	昭和49年 10月 23日	水曜日	大安	創立50周年記念式典を挙行。
1984年 10月 27日	昭和59年 10月 27日	土曜日	先勝	創立60周年記念式典を挙行。
1994年 11月 18日	平成6年 11月 18日	金曜日	先勝	創立70周年記念式典を挙行。
2004年 12月 1日	平成16年 12月 1日	水曜日	大安	創立80周年記念式典を挙行。
2014年 10月 29日	平成26年 10月 29日	水曜日	友引	創立90周年記念式典を挙行。
2024年 10月 日	令和6年 10月 日			創立100周年記念式典を挙行予定。

3. 役員、評議員の概要 (令和4年(2022年)3月31日現在)

区分	職務	定数	現員数	任期	期間
役員	理事	5人~8人	8人	旧理事5年	2017.11.21~2022.11.20
				新理事4年	2022.11.21~2026.11.20
	監事	2人	2人	旧監事5年	2017.11.21~2022.11.20
				新監事4年	2022.11.21~2026.11.20
評議員	評議員	11人~17人	17人	4年	2021.2.26~2025.2.25

4. 役員、評議員の名簿 (令和4年(2022年)3月31日現在)

No.	役員	氏名	No.	評議員	氏名
1	理事長・1号理事	竹下健治	1	1号評議員	竹下健治
2	2号理事	鶴巻禎治	2	2号評議員	鶴巻禎治
3	2号理事	中島正義	3	2号評議員	中島正義
4	3号理事	干貝孝三郎	4	3号評議員	喜多泰子
5	3号理事	浅野勝英	5	3号評議員	松本和世
6	3号理事	木村聡美	6	4号評議員	干貝孝三郎
7	3号理事	桑原志郎	7	4号評議員	浅野勝英
8	3号理事	奥谷彰男	8	4号評議員	岡田裕伸
9	監事	宮田正一	9	4号評議員	安田清
10	監事	中條伊代子	10	4号評議員	鳥山慎二
			11	4号評議員	桑原志郎
			12	4号評議員	奥谷彰男
			13	4号評議員	河村繁
			14	4号評議員	吉川今日子
			15	4号評議員	吉田秀子
			16	5号評議員	筒井照子
			17	5号評議員	中村佳子

5. 近年の学則収容定員の状況

区分	~平成11年 3月31日	平成11年 4月1日~	平成20年 4月1日~	平成21年 4月1日~	平成27年 4月1日~現在
昇陽中学校	-	-	-	120人	120人
合計	-	-	-	120人	120人
昇陽高等学校					
普通科	600人	600人	600人	600人	840人
商業科	750人	510人	-	-	-
福祉科	-	240人	480人	480人	360人
合計	1350人	1350人	1080人	1080人	1200人
総合計	1350人	1350人	1080人	1200人	1320人

6. 設置する学校の状況 (令和3年(2021年)5月1日現在)

区分	課程・学科	収容定員数 (A)	現員数 (B)	収容率 (B/A)
昇陽中学校		120人	94人	78.33%
昇陽高等学校	全日制課程 普通科	840人	632人	75.24%
	全日制課程 福祉科	360人	154人	42.78%
合計		1200人	786人	65.50%
総合計		1320人	880人	66.67%

7. 教職員の概要 (令和3年(2021年)5月1日現在)

(学校基本調査)

区分	昇陽高等学校		昇陽中学校		合計	
	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
校長	1名			1名	1名	1名
教頭	1名		1名		2名	
教諭	29名	2名	3名	4名	32名	6名
講師	37名	26名	3名	9名	40名	35名
養護教諭	1名				1名	名
事務職員	10名				10名	
実習助手	3名				3名	
用務員等	2名				2名	
学校医		1名		1名		2名
学校歯科医		1名		1名		2名
学校薬剤師		1名		1名		2名
合計	84名	31名	7名	17名	91名	48名
	115名		24名		139名	

8. 令和3年度卒業者の進路状況

昇陽高等学校

進路	内訳	男	女
進学した者	大学進学	39人	26人
	短大進学	2人	7人
	専修学校	22人	34人
	各種学校	1人	3人
就職・その他	就職	25人	18人
	その他	8人	11人

昇陽中学校

進路	内訳	男	女
全日制高校へ進学	併設校へ進学	23人	12人
	府内公立へ		
	府内他の私立へ		
通信制高校へ進学	府内私立へ		
	他府県公私立へ		



## 第2 事業の概要 (事業報告書)

### 1. 施設等の状況 (令和4年(2021年)3月31日現在)

#### 総括表

#### 土地

区分	面積 (㎡)			所在地
	自己所有	借用	計	
此花本校	9,568.47 ㎡	1884.00 ㎡	11,452.47 ㎡	大阪市此花区朝日1丁目1-9他
城山キャンパス	29,364.00 ㎡		29,364.00 ㎡	大阪府豊能郡豊能町余野77番他
<b>土地合計</b>	<b>38,932.47 ㎡</b>	<b>1,884.00 ㎡</b>	<b>40,816.47 ㎡</b>	

#### 建物

区分	校舎建築面積	校舎延床面積		所在地
此花本校	4,479.99 ㎡	15,378.33 ㎡		大阪市此花区朝日1丁目1-9他
城山キャンパス	2,532.66 ㎡	7,889.95 ㎡		大阪府豊能郡豊能町余野77番他
<b>建物合計</b>	<b>7,012.65 ㎡</b>	<b>23,268.28 ㎡</b>		

#### 運動場

区分	運動場	体育館	計	所在地
此花本校	2,901.68 ㎡	900.98 ㎡	3,802.66 ㎡	大阪市此花区朝日1丁目1-9他
城山キャンパス	6,656.00 ㎡	1,250.00 ㎡	7,906.00 ㎡	大阪府豊能郡豊能町余野77番他
<b>運動場合計</b>	<b>9,557.68 ㎡</b>	<b>2,150.98 ㎡</b>	<b>11,708.66 ㎡</b>	

別途：令和2年4月1日 本校新練習コート人工芝設置工事完了 200㎡

#### 体育館の内訳

此花本校体育館面積		城山キャンパス体育館面積	
1F 小体育室	2F 競技場	1F 小競技場・剣道場・柔道場	2F 競技場
144.98 ㎡	756.00 ㎡	450.00 ㎡	800.00 ㎡
<b>900.98 ㎡</b>		<b>1250.00 ㎡</b>	

#### 借用土地

阪神電気鉄道株	755.00 ㎡
大阪市	1,129.00 ㎡
<b>借用合計</b>	<b>1,884.00 ㎡</b>

(1) 土地の概要

登記等年月日			登記簿所在地	地目	区分	登記簿面積 (㎡)	取得価額 (円)
1948/10/20	昭和23年10月20日	売買	此花区朝日1丁目1-7	学校用地	校内	3,702.00	37,701,168
1948/10/20	昭和23年10月20日	売買	此花区朝日1丁目1-9	学校用地	校内	2,343.00	23,861,112
1948/10/20	昭和23年10月20日	売買	此花区朝日1丁目10-6	学校敷地	校内	1,917.00	19,522,728
1962/12/4	昭和37年12月4日	無償	此花区朝日1丁目10-105	宅地	校外	63.04	642,000
1990/5/30	平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目1-211	宅地 (1,532.23)	校内	185.22	49,556,140
1990/5/30	平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目1-350		校外	296.59	
1990/5/30	平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目1-351		校外	49.71	
1990/5/30	平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目10-9		校内	542.24	
1990/5/30	平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目10-92		校外	458.47	
1978/6/10	昭和53年6月10日		此花区朝日1丁目運動場造成 3836㎡				6,616,000
1963/5/7	昭和38年5月7日	売買	此花区朝日1丁目1-420	公衆用道路	校外	3.46	
1966/12/20	昭和41年12月20日	売買	此花区朝日1丁目1-421	公衆用道路	校外	3.28	
1966/12/20	昭和41年12月20日	売買	此花区朝日1丁目10-161	公衆用道路	校外	4.46	
<b>此花本校舎 計</b>						9,568.47	137,899,148
2008/6/30	平成20年6月30日	売買	豊能郡豊能町余野319番2 城山グラウンド	学校用地		9,255.00	65,000,000
2011/4/1	平成23年4月1日	売買	豊能郡豊能町余野77番 城山キャンパス	学校用地		19,981.00	15,200,000
2011/4/1	平成23年4月1日	売買	豊能郡豊能町余野319番5 城山キャンパス	学校用地		128.00	
2008/6/30	平成20年6月30日		城山グラウンド除草費				208,593
2008/6/30	平成20年6月30日		城山除草シート貼り				1,387,050
<b>城山キャンパス 計</b>						29,364.00	81,795,643
<b>土地合計 (うち校外 879.01㎡)</b>						38,932.47	219,694,791

(2) 建物の概要

新築年月日		名称	構造	登記簿面積㎡	取得価額 (円)
1963/11/30	昭和38年11月30日	南西館	RC造3階建	7,048.50	88,935,000
1999/3/15	平成11年3月15日	新南館	RC造6階建		985,800,948
1999/3/15	平成11年3月15日	集塵庫	CB造平屋建	12.90	
1964/7/14	昭和39年7月14日	高架下館	木・コンクリート ブロック造2階建	903.34	17,880,000
1978/2/28	昭和53年2月28日	新北館 (H27.8.25耐 震改修工事完了)	RC造4階建	1,626.92	163,858,550
1984/2/17	昭和59年2月17日	体育館兼講堂・食堂	RC造3階建	2,231.37	390,000,000
2015/3/18	平成27年3月18日	東館	RC造5階建	3,555.30	780,867,000
<b>此花本校 合計</b>				15,378.33	2,427,341,498

登記日	新築年月日	名称	構造	登記簿面積㎡	取得価額 (円)
令和元年 9月6日	S50.11.30新築、S51.12.20増築	校舎	RC造4階建	5,617.64	0
	S54.4.16新築	体育館	RC造3階建	2,272.31	0
<b>城山キャンパス 合計</b>				7,889.95	0

(3) 借用土地の概要

① 阪神電気鉄道(株)

契約書名	契約日	使用期間	登記簿所在地	地目等	登記簿面積 (㎡)	登記簿面積 (㎡)	登記簿面積 (㎡)	施設使用料
①阪神電気鉄道(株)と土地使用貸借契約書	S37.12.4 契約 H28.8.21 更新	S38.9.1～ 現在	此花区朝日1丁目10-91	学校敷地	548 ㎡	548 ㎡	548 ㎡	無償
②阪神電気鉄道(株)と高架下施設賃貸借契約書	S40.6.1 契約、 H12.5.12 値上げ	S39.9.1～ H26.12.31	此花区朝日1丁目10-109	公衆用道路	19 ㎡	121 ㎡	207 ㎡	760,200 円/年 最終敷金 760,200 円
			此花区朝日1丁目10-110	雑種地	102 ㎡			H12.5.12 値上げ 1,508,400 円/年
	H27.1.1 更新 (10-170 追加)	H27.1.1～ 現在	此花区朝日1丁目10-170	鉄道用地	86 ㎡		1,508,400 円/年 敷金 760,200 円	
合 計					755 ㎡	669 ㎡	755 ㎡	

② 大阪市の校内敷地の概要

所有者	使用開始日	登記簿所在地	地目	登記簿面積 (㎡)	左の範囲	合計面積 (㎡)
大阪市	S38 年頃	此花区朝日1丁目1-308	公衆用道路	538.00	左の全部	1,129.00
		此花区朝日1丁目10	公衆用道路	591.00		
		此花区朝日1丁目1-309	公衆用道路	171.00	左の一部	
		此花区朝日1丁目10-71	公衆用道路	171.00		
		此花区朝日1丁目10-97	宅地	177.15		

(4) 近年の施設整備状況

1	2015年3月18日	平成27年3月18日	東館 鉄筋コンクリート5階建(3,555.3 ㎡)竣工。
2	2015年8月25日	平成27年8月25日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635 ㎡) 耐震改修工事完了。 (商業教室 図書館等)
3	2015年12月20日	平成27年12月20日	1965年竣工の北館及び体育館 第6期工事鉄筋コンクリート四階建取壊し
4	2020年1月30日	令和2年1月30日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656 ㎡
5	2020年4月1日	令和2年4月1日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200 ㎡
6	2020年12月16日	令和2年12月16日	南西館耐震改修工事完了
7	2021年1月22日	令和3年1月22日	城山体育館耐震改修工事完了

## 2. 生徒の在籍状況

令和3年(2021年)5月1日現在 昇陽中学校在籍数											
1年			2年			3年			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
20	10	30	13	16	29	23	12	35	56	38	94

令和3年(2021年)5月1日現在 昇陽高等学校在籍数												
	1年			2年			3年			合計		
科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
普通科	167	91	258	130	81	211	80	83	163	377	255	632
福祉科	32	29	61	20	37	57	15	21	36	67	87	154
計	199	120	319	150	118	268	95	104	199	444	342	786

(参考)

近年の各年度5月1日現在 生徒数

西暦	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
中学	92名	92名	90名	96名	96名	94名
高校	1074名	1022名	922名	803名	758名	786名
総合計	1166名	1114名	1012名	899名	854名	880名

西暦	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
平成年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
中学1年生	29	32	32	38	29	30
中学2年生	30	30	29	30	37	29
中学3年生	33	30	29	28	30	35
合計	92名	92名	90名	96名	96名	94名
高校1年生	354	361	294	246	296	319
高校2年生	360	319	326	266	216	268
高校3年生	360	342	302	291	246	199
合計	1074名	1022名	922名	803名	758名	786名

### 3. 令和3年度 理事会・評議員会の開催状況

#### 令和3年度 第1回 理事会

令和3年(2021年)5月28日(金) 午前10時～午前10時56分 新南館3階 会議室

出席理事 7名、 出席監事 2名、 (役員全員出席)

##### 議案 報告事項・決議事項

- 第1号報告 浅野勝英氏の常任理事選任について
- 第2号報告 木村嘉子氏からの退職慰労金返金の取扱いについて
- 第3号報告 令和3年度入学金の分割納入の結果について
- 第1号議案 令和2年度事業報告書(案)について (理事会決議)
- 第2号議案 令和2年度計算書類(案)について (理事会決議)
- 第3号議案 令和2年度理事会・評議員会の事業報告について (理事会決議)
- 第4号議案 令和2年度監事の監査報告について (理事会報告)
- 第5号議案 訴状の取扱いについて (理事会決議)

#### 令和3年度 第1回 評議員会

令和3年(2021)5月28日(金) 午前10時00分～午前10時50分 新南館3階 会議室

出席評議員 10名、 欠席評議員 2名、 出席監事 2名、

##### 議案 報告事項

- 第1号報告 浅野勝英氏の常任理事選任について
- 第2号報告 木村嘉子氏からの退職慰労金返金の取扱いについて
- 第3号報告 令和3年度入学金の分割納入の結果について
- 第1号議案 令和2年度事業報告書について (報告)
- 第2号議案 令和2年度計算書類について (報告)
- 第3号議案 令和2年度理事会・評議員会の事業報告について (報告)
- 第4号議案 令和2年度監事の監査報告について (報告)

#### 令和3年度 第2回 評議員会

令和3年(2021)9月9日(木) 午前11時30分～午後0時43分 新南館3階 会議室

出席評議員 11名、 欠席評議員 1名、 出席監事 2名、

##### 議案 報告事項・諮問決議事項

- 第1号報告 土地使用にかかる大阪市建設局等への訪問経過について
- 第1号議案 昇陽中学校・高等学校 中長期計画策定に向けて (諮問)
- 第2号議案 役員報酬規程の改正について (諮問)
- 第3号議案 令和3年度収支予算書(第1次補正予算)(案)について (諮問)
- 第4号議案 学校ホームページ掲載の事業報告について (諮問)

#### 令和3年度 第2回 理事会

令和3年(2021)9月9日(木) 午前11時30分～午後0時57分 新南館3階 会議室

出席理事 7名、 出席監事 2名、 (役員全員出席)

##### 議案 報告事項・決議事項

- 第1号報告 土地使用にかかる大阪市建設局等への訪問経過について
- 第1号議案 昇陽中学校・高等学校 中長期計画策定に向けて (理事会決議)
- 第2号議案 役員報酬規程の改正について (理事会決議)
- 第3号議案 令和3年度収支予算書(第1次補正予算)(案)について (理事会決議)
- 第4号議案 学校ホームページ掲載の事業報告について (理事会決議)
- 第5号議案 3号理事の選任について (理事会決議)

#### 令和3年度 第3回 評議員会

令和3年(2021年)11月4日(木) 午前10時30分～午前11時40分 新南館3階 会議室

出席評議員 11名、 欠席評議員 1名、 出席監事 2名、

議案	報告事項・諮問決議事項	
第1号報告	大阪府私学課の实地検査の結果について	(報告)
第1号議案	昇陽高等学校授業料改定協議について	(諮問)
第2号議案	管理運営規程の制定について	(諮問)
第3号議案	教職員退職金規定の改正について	(諮問)
第4号議案	寄附行為の一部改正について	(諮問)
第5号議案	令和3年度収支予算書(第2次補正予算)(案)について	(諮問)

令和3年度 第3回 理事会

令和3年(2021年)11月4日(木) 午前10時30分～午前11時53分 新南館3階 会議室  
出席理事 8名、出席監事 2名、(役員全員出席)

議案	報告事項・決議事項	
第1号報告	大阪府私学課の实地検査の結果について	(報告)
第1号議案	昇陽高等学校授業料改定協議について	(理事会決議)
第2号議案	管理運営規程の制定について	(理事会決議)
第3号議案	教職員退職金規定の改正について	(理事会決議)
第4号議案	寄附行為の一部改正について	(理事会決議)
第5号議案	令和3年度収支予算書(第2次補正予算)(案)について	(理事会決議)
第6号議案	評議員の選任について	(理事会決議)

令和3年度 第4回 評議員会

令和4年(2022年)3月31日(木) 午前10時～11時55分 新南館6階 カトリアホール  
出席評議員 14名、欠席評議員 3名、出席監事 2名、

議案	報告事項・諮問決議事項	
第1号報告	令和4年1月1日改正施行の寄附行為について	(報告)
第2号報告	寄附金の税額控除制度適用のため大阪府・大阪市 への申請手続きについて	(報告)
第3号報告	令和4年度生徒募集状況について	(報告)
第1号議案	評議員の選任区分の変更等について	(諮問)
第2号議案	中長期計画ビジョン策定について	(諮問)
第3号議案	令和4年度収支予算書について	(諮問)
第4号議案	学則の改正について	(諮問)
第5号議案	給与規則等の一部改正について	(諮問)
第6号議案	城山キャンパスグラウンド使用規程の制定について	(諮問)
第7号議案	年度末・年度当初の教職員人事等について	(諮問)

令和3年度 第4回 理事会

令和4年(2022年)3月31日(木) 午前10時～11時55分 新南館6階 カトリアホール  
出席理事 8名、出席監事 2名、(役員全員出席)

議案	報告事項・決議事項	
第1号報告	令和4年1月1日改正施行の寄附行為について	(報告)
第2号報告	寄附金の税額控除制度適用のため大阪府・大阪市 への申請手続きについて	(報告)
第3号報告	令和4年度生徒募集状況について	(報告)
第1号議案	評議員の選任区分の変更等について	(理事会決議)
第2号議案	中長期計画ビジョン策定について	(理事会決議)
第3号議案	令和4年度収支予算書について	(理事会決議)
第4号議案	学則の改正について	(理事会決議)
第5号議案	給与規則等の一部改正について	(理事会決議)
第6号議案	城山キャンパスグラウンド使用規程の制定について	(理事会決議)
第7号議案	年度末・年度当初の教職員人事等について	(理事会決議)

#### 4. 過半数労働代表との労使協定書の締結

令和3年度 時間外勤務および休日勤務に関する協定書 (令和3年3月31日)  
 令和3年度 1年単位の变形労働時間制に関する労使協定書 (令和3年3月31日)  
 令和2年度 時間単位年休に関する労使協定書 (令和2年4月13日) 有効期間延長

#### 5. 就業規則変更届の提出

就業規則改正については、令和3年11月4日評議員会・理事会にて、教職員退職金規定の一部改正及び管理運営規程の制定が決議され、令和3年11月5日付けで労働基準法第90条に基づく過半数労働者代表者の意見書の聴取を求めたところ、令和4年3月1日付けで意見書が提出され、その意見書を添付して、同日に労働基準法第89条に基づく「就業規則変更届」を西野田労働基準監督署長あてに提出し、同日受理された。

##### 主な改正・制定の概要

##### (1) 学校法人淀之水学院 教職員退職金規定の一部改正

特に本法人が必要と認め雇用契約書で退職金支給を締結した職員に対する退職金、及び、従前から実施している退職手当に加算する管理職功労金の支給について、その取扱いを明確にするため、教職員退職金規定にその事項を定めるものである。

##### (2) 学校法人淀之水学院 管理運営規程 制定

学校法人淀之水学院が、学校教育法に則り、管理職体制のより充実明確化を図るため、設置する昇陽中学校、昇陽高等学校及び法人事務局の管理職の任用に関する事項を定めるものである。

#### 6. 学院の寄附行為の一部改正

令和3年11月4日評議員会の諮問及び理事会の決議を経て、令和3年11月8日大阪府教育長あてに寄附行為変更認可申請書を提出し、令和3年12月24日申請書どおり大阪府教育長から令和4年1月1日改正施行の寄附行為変更認可書をいただいた。

##### 変更認可の概要

##### (1) 寄附行為の改正案作成

学院の組織活性化の第5項「今後の理事会組織」に基づいて、理事会機能の強化を図り組織全体の総合力向上を達成するため、現在の学院規模の状況を検証して今後の在り方を考察し、役員任期等をより活性化できるよう、寄附行為の一部変更を提案した。

寄附行為の改正実施は令和4年1月1日から施行するものとし、ただし、第10条の役員任期は、この寄附行為施行の日以降に選任される役員から適用するものとする。

##### (2) 寄附行為変更の条項及び事由

第9条の2： 親族関係者等の制限を明記することで、私立学校法の趣旨が明確に反映する。

第10条： 役員任期を5年から4年へ改正することで、次のメリットがある。

- ・ 任期を1年短縮することで人事刷新に役立つ
- ・ 2号理事の任期にバランスがとれる

評議員選任から理事任期満了まで 21 か月

理事選任から評議員任期満了まで 27 か月

第 20 条 : 評議員としての理事長と校長の 2 人枠を 1 人が兼務すると、私立学校法第 41 条(評議員会は理事の定数の二倍をこえる数の評議員をもつて、組織する。)に抵触するため、それを解消する措置として、理事長を外して職員評議員と学識評議員の定員を増やすことで適切な運用が図れる。

また、評議員理事が理事長になったり解職されたりした場合、評議員枠の取扱いに不明確なところがあるため、理事長評議員自体をなくすことで、評議員の選任ルールとして簡明となる。理事長評議員をなくしても、理事長が評議員を兼任する必要があるときは、職員評議員や学識評議員として別途選任することで対応できる。

附 則 : 1 この寄附行為は、令和 4 年 1 月 1 日から施行する。

(第 9 条の 2 の新設、第 10 条の一部改正、第 20 条の一部改正)

2 前項の規定にかかわらず、改正後の第 10 条の規定は、この寄附行為施行の日以降に選任される役員から適用する。

2. 寄附行為 変更条文新旧比較表

新条文	旧条文
<p style="text-align: center;">学校法人淀之水学院 寄附行為</p> <p>(親族関係者等の制限)</p> <p><u>第 9 条の 2 この法人の理事のうちには、各理事に</u> <u>ついてその親族その他特殊の関係がある者が一人を超えて含まれることには</u> <u>ならない。</u></p> <p><u>2 この法人の監事には、この法人の理事(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)</u> <u>及び評議員(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)</u>並びにこの法人の職員が含まれることにはならない。</p> <p><u>3 この法人の監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。</u></p> <p>(役員の任期)</p> <p>第 10 条 役員(第 6 条第 1 項第 1 号に掲げる理事を除く。以下この条において同じ。)の任期は、<u>4 年</u>とする。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とすることができる。</p> <p>2 役員は、再任されることができる。</p> <p>3 役員は、任期満了の後でも、後任の役員が選任されるまでは、なお、その職務(理事長にあつては、その職務を含む。)を行う。</p> <p>(評議員の選任)</p>	<p style="text-align: center;">学校法人淀之水学院 寄附行為</p> <p>(新設)</p> <p>(役員の任期)</p> <p>第 10 条 役員(第 6 条第 1 項第 1 号に掲げる理事を除く。以下この条において同じ。)の任期は、<u>5 年</u>とする。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とすることができる。</p> <p>2 役員は、再任されることができる。</p> <p>3 役員は、任期満了の後でも、後任の役員が選任されるまでは、なお、その職務(理事長にあつては、その職務を含む。)を行う。</p> <p>(評議員の選任)</p>



<p>第20条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。</p> <p>(1)昇陽高等学校の校長</p> <p>(2)この法人の職員で理事会において推せんされた者のうちから、評議員会において選任した者 <u>2人</u></p> <p>(3)この法人の設置する学校を卒業した者で年齢25年以上の者のうちから、理事会において選任した者 1人又は2人</p> <p>(4)学識経験者のうちから、理事会において選任した者 <u>6人以上10人以内</u></p> <p>(5)この法人の設置する学校の在学者及び卒業生の父母若しくは保護者のうちから、理事会において選任した者 1人又は2人</p> <p>2 前項第1号及び第2号に規定する評議員は、<u>校長及びこの法人の職員の地位を退いたときは評議員の職を失うものとする。</u></p> <p>附則</p> <p>1 この寄附行為は、令和4年1月1日から施行する。(第9条の2の新設、第10条の一部改正、第20条の一部改正)</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、改正後の第10条の規定は、この寄附行為施行の日以降に選任される役員から適用する。</p>	<p>第20条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。</p> <p><u>(1)本法人理事長</u></p> <p>(2)昇陽高等学校の校長</p> <p>(3)この法人の職員で理事会において推せんされた者のうちから、評議員会において選任した者 <u>1人又は2人</u></p> <p>(4)この法人の設置する学校を卒業した者で年齢25年以上の者のうちから、理事会において選任した者 1人又は2人</p> <p>(5)学識経験者のうちから、理事会において選任した者 <u>6人以上9人以内</u></p> <p>(6)この法人の設置する学校の在学者及び卒業生の父母若しくは保護者のうちから、理事会において選任した者 1人又は2人</p> <p>2 前項第1号から第3号に規定する評議員は、<u>理事長及び校長並びにこの法人の職員の地位を退いたときは 評議員の職を失うものとする。</u></p> <p>(新設)</p>
---	--

### 第3 学校教育計画、学校評価 及び 外部評価委員会 の概要

#### 1. 令和3年度 昇陽中学校・高等学校「学校教育計画」、「学校評価」事業報告

昇陽中学校・高等学校  
校長 竹下 健治

#### I めざす学校像

##### 建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

##### 教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

#### II 中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
  - (1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」
    - ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。  
※学校教育自己診断で「授業が分かりやすく学習習慣がしっかりと身につく授業が行われているか」などを令和3年度は昨年度比5ポイント上げる。
    - イ 「主体的・対話的で深い学び」のために ICT 教育やアクティブラーニングを推進する。
    - ウ ICT 教育では、「G Suite For Education」や「Classi」などを使用し、情報活用能力や ICT リテラシーを育成する。
    - エ IT フロンティアコースは4分野（プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、メディア、e スポーツ）を柱として育成する。
    - オ 各コースの目標を設定し、積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。
- 2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。
  - (1) 新コースを立上げ、時代に即した人材育成に努める。全てのコースで生徒の基礎学力を伸ばし、応用的な学力向上のための取組みを積極的に進める。
  - (2) 「For Others～奉仕のこころ～、志高く」の精神を実現し、人材育成の重点を、「教養」「英語（国際）」「ICT」とする。  
「教養」では、国語力、論理力、スポーツ、芸術、倫理観などの育成を図る。
  - (3) ICT 教育環境整備など、活力ある学校生活が送られる施設整備を進める。

- 3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
- (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
- ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。  
 ※学校教育自己診断で「日頃から日常生活のマナーや社会人のルールを守るように取り組んでいる。」  
 などを令和3年度は昨年度比5ポイント上げる。
- (2) 人権意識の醸成
- ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別事象、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）
- 4 学び連携できる教員集団
- (1) 授業力向上の取組み
- ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
- イ 若手教員研修の定期的実施
- (2) 各種研修の実施
- ア ICT教育や新学習指導要領などの研修や人権関係や服務などの研修を実施する。
- (3) その他
- ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営の意識を持つ。小会議やミーティングやケース会議の実施。
- イ コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる
- ウ ICT環境を整え、ホームページを充実させる。（記録、更新の促進）

III 本年度の取組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
--	----------	--------------	------	------

<p>1 基礎学力の充実から自ら考える力へ</p>	<p>ア 基礎学力の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題・課題とその定着確認</li> <li>・自習室の設置</li> <li>・放課後、長期休業中の講習の充実</li> <li>・<u>春期講習の実施</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価5%上げる。</li> <li>・講習の開講日数および参加者増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業関係」肯定的評価 10% (高校) 3.6% (中学) 上昇◎</li> <li>・春期勉強合宿実施◎</li> <li>・朝テストほぼ実施○</li> <li>・Wihi 施設、昇陽塾特別自習室整備◎</li> <li>・ICTによる協働的な学びが実施される○</li> </ul>
	<p>イ「主体的・対話的で深い学び」の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の HR に朝読と朝テスト</li> <li>・ベルリッツ導入による2技能強化</li> <li>・ICT教育やアクティブラーニングの研究授業実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝テストの実施率</li> <li>・ICT教育関係施設整備状況及び研究授業実施状況</li> <li>・ICT機器の導入</li> <li>・「<u>G Suite For Education</u>」導入などによる協働的学びやマルチメディア教材の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回放課後の活動ほぼ実施○</li> <li>・eスポーツ大会などの参加○</li> </ul>
	<p>ウ ICT教育の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1年、高等学校1年全員に、<u>1人1台のクロームブックを使用させ、新たなICT教育の取組みを行う。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>週1回放課後の活動状況</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・龍谷大学10名◎</li> <li>・就職希望内定率100%◎</li> <li>・公務員試験合格率15%△</li> </ul>
	<p>エ ITフロンティアコースの4分野の展開</p> <p>オ 各コースの目標設定・取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、メディア、eスポーツの取組み</u></li> <li>・ベルリッツ導入による2技能強化</li> <li>・英検、GTECの充実</li> <li>・英検、数検、漢検の受験促進</li> <li>・特進、進学コースの進路実現</li> <li>・進路決定率を高める</li> <li>・就職・公務員希望者の進路実現</li> <li>・模試による学力評価</li> <li>・パティシエコースに製菓衛生師資格取得へ</li> <li>・福祉コースの進路実現</li> <li>・中学校において英検・漢検・数検を更に受験させ、実績を上げる。</li> <li>・放課後、昇陽塾を開き、個々の生徒の学力に応じた指導をおこなう。</li> <li>・各コースのカリキュラム変更準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定受験者数増加</li> <li>・難関私立大学合格者数</li> <li>・就職希望内定率を100%</li> <li>・公務員試験合格率</li> <li>・介護福祉士国家試験合格率70%以上</li> <li>・中学校英検等、昨年度以上</li> <li>・学校教育自己診断での「進路指導」関係評価5%上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GTZ 学力評価 1・2年上昇◎</li> <li>・介護福祉士国家試験合格率90%◎</li> <li>・高校英検準2級、3級合格率上昇◎</li> <li>・「進路関係」10.5% (高校) 6.9% (中学) 上昇◎</li> <li>・昇陽塾活性化委員会設置、昇陽塾本格運営◎</li> </ul>

<p>2 輝く居場所を作る</p>	<p>(1) 新コースの立上げと人材育成など</p> <p>(2) 「For Others」などの人材育成</p> <p>(3) 施設整備の充実</p>	<p>・進学コースとビジネス・IT フロンティアコースでの取組み</p> <p>・全てのコースの学力育成と特色ある取組み</p> <p>・各コースで「For Others ～奉仕のこころ」の取組みを行う。</p> <p>・ICTを使った遠隔地教育を試みる。</p> <p>・城山キャンパスの施設・整備充実</p>	<p>・進学Ⅲコースの講習等の参加率</p> <p>・各コースの学力目標設定</p> <p>・各コース目標達成内容</p> <p>・「For Others」各コース年1回以上の取組み</p> <p>・海外修学旅行や海外研修の取組み模索</p> <p>・キャリアパスポートの作成</p> <p>・「G Suite For Education」の導入</p>	<p>・参加率約 70% ◎</p> <p>・「For Others」活動実施○</p> <p>・海外研修等コロナにより中止</p> <p>・キャリアパスポート作成○</p> <p>・「G…」授業、連絡等で使用◎</p>
<p>3 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成</p>	<p>ア 授業に集中できる学習環境と授業規律</p> <p>イ 人権意識の醸成</p> <p>ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化</p>	<p>・生徒による挨拶運動の実施</p> <p>・<u>正門での「正門一礼」の実施</u></p> <p>・予鈴や入室指導の継続</p> <p>・「5分前集合」を徹底させる</p> <p>・<u>「昇陽手帳」の使用（1・2年生）</u></p> <p>・遅刻指導の実施</p> <p>・通学指導の実施</p> <p>・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修）</p> <p>・強化クラブの充実</p>	<p>・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施</p> <p>・教員による入室指導後ベル始業の徹底</p> <p>・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価5%上げる</p> <p>・「5分前集合」「授業集中状況」</p> <p>・<u>遅刻件数を昨年度比15%減少</u></p> <p>・強化クラブの全国レベル大会出場</p>	<p>・週1回の挨拶運動◎</p> <p>・「正門一礼」毎日実施◎</p> <p>「昇陽手帳」の使用◎</p> <p>・「生徒指導関係」肯定率7.6%（高校）4.2%上昇○</p> <p>遅刻件数△</p> <p>・人権研修2回実施</p> <p>・ソフトテニス部全国選抜大会3位出場、男子中学校バレーボール全中ベスト8、高校バレーボール春高まで後1勝○</p>

4 学び連携できる教員集団	ア 授業力向上の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間の設定</li> <li>・先進校訪問の継続</li> <li>・授業アンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互授業見学、研究協議の実施</li> <li>・教職員「昇陽スタンダード」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究週間実施○</li> <li>・「昇陽スタンダード」作成、周知◎</li> <li>・観点別評価によるシラバス作成。観点別評価2学期より試行◎</li> </ul>
	イ 各種研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科・科目のシラバスの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別評価にもとづくシラバスの作成内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手研修会実施できず△</li> <li>・将来構想委員会入試問題検討委員会、デジタル委員会開催◎</li> </ul>
	ウ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コース検討研修会を開く</li> <li>・若手研修会「雑土」と「チューター制」</li> <li>・夏季休業中の外部研修受講</li> <li>・各種委員会(将来構想委員会、ICT 検討委員会、入試問題検討委員会、<u>デジタル委員会</u>)を構成し、諸課題に対応する</li> <li>・生徒の情報共有を進める</li> <li>・ICT 環境の整備</li> <li>・学校ウェブサイトの刷新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進校訪問、外部研修5名以上参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進校訪問コロナで中止△外部研修2名実施○</li> <li>・ドローン研修○</li> <li>・学校ホームページ刷新◎</li> </ul>

## 2. 令和3年度 外部評価委員会 事業報告

### 令和3年度 昇陽中学校・高等学校 外部評価委員会

○根拠規定：学校法人淀之水学院 外部評価委員会規程（平成30年9月8日制定）

#### 第1回 外部評価委員会

・令和3年9月25日（土）

出席者：保護者会会長、此花区長、中学校校長、大学教授、教育関係者、学校事務局等

##### ① 委員会協議内容

- ・令和3年度学校教育計画について
- ・本校の現状報告と質疑応答

##### ② 外部評価委員会からの意見や助言など（ ）は学校事務局の返答

- ・校長が理念を持ち、リーダーシップを発揮している。今後の目標をどのように考えているか。  
(さらに入学して良かったと思える学校にしたい。そのためにも保護者や関係者との連携が必要となる。)
- ・教職員に対して、「昇陽スタンダード」を出しているが、教員の育成、学校のマネジメント、生徒の学びをどのようにしようと考えているか。  
(昇陽の基準となる「昇陽スタンダード」は学校教育計画から策定している。学校教育計画から、どのような資質・能力、経営が必要か考えている。)
- ・生徒と学校が共通の感情をもって、学校のスタンダードを作してほしい。  
(自分の学校として学校を愛してもらえるように頑張りたい。また、その意味の「昇陽スタンダード」を作りたい。)
- ・遅刻者や退学者の減少は、生徒たちの頑張りの反映として素晴らしい事だ。

- ・高校低学年の進路情報の提供が少ないのではないか。  
(コロナ禍もあり、全体指導が難しくなっている。出来る中で、もっと積極的に生徒と向き合いたい。)

## 第2回 外部評価委員会

令和4年3月に予定していたが、コロナ感染増加のため、令和3年度「学校教育計画」および「自己評価」、学校教育自己診断アンケートの総括を書面送付した上で、外部評価委員の意見を伺った。

書面を送付した方々： 保護者会会長、此花区長、中学校校長、大学教授、教育関係者

### ① 委員会書面送付内容

#### (ア) 令和3年度「学校教育計画」および「自己評価」結果報告

- ・基礎学力について、ベネッセのGTZ評価上昇や英語検定合格者数増加などの結果報告
- ・学力向上の取組み報告
- ・生徒指導として「正門一礼」の実施報告と「遅刻者数」報告
- ・教職員育成について、「昇陽スタンダード」の周知、観点別評価導入報告など
- ・その他、本校課題等の報告

#### (イ) 学校教育自己診断アンケートの総括報告

- ・高等学校生徒について、各評価数値は大幅に上昇したが数値自体はまだ低い。特に、「学習・授業関係」で大きく上昇した。ICT教育や「昇陽塾」などが評価されたかもしれない。
- ・高等学校生徒について、「生徒指導関係」は大きく上昇した。
- ・高等学校生徒について、「部活動関係」は少し下降した。部活動加入率は上がったが、入部後において適応しているか丁寧な対応が必要と思われる。
- ・中学校生徒について、全体的に各数値とも高く、昨年度とほぼ同じである。「学習・授業関係」や「生徒指導関係」はさらに上昇し、数値も高い。
- ・保護者について、昨年度とほぼ同じで全体として高い、「学校満足度」が上昇した。ただし、中学校保護者で一部下降した。
- ・教職員について、「教育方針」「教育計画」の浸透について、概ね上昇した。しかし、「地域の交流」や「研修関係」は下降した。コロナ禍で交流や研修が減少した事が考えられる。

### ② 学校教育計画自己評価および学校教育自己診断について委員の意見や助言

- ・学校評価について、高校のほとんどの項目で肯定的な評価が上昇している。講習、朝テスト、「昇陽塾」、ICT教育、「For Others～奉仕のこころ～」、「昇陽手帳」など多様なプログラムやツールの展開、さらには「昇陽スタンダード」をベースにした教員の努力・質向上が結実したものと評価できる。
- ・教職員の「研修関係」がマイナスとなっているのは、教職員の研修意欲の高まっている裏返しとも受け取れる。
- ・高等学校生徒の評価は全体的に上昇しているが、数値自体はまだ低い。80%は超えてほしい。
- ・ベネッセの指標や英語検定合格者数の上昇など確かな手ごたえを感じます。部活動も頑張っているが、所属できていない生徒への応援もよろしく願います。
- ・AO入試や推薦入試の小論文対策、作文力の向上も必要と思われます。
- ・校長をはじめ学校が一貫してブレていないので安心していますが、さらに授業参観を増やし学校行事の参加を促進したならば保護者は積極的に協力します。
- ・「昇陽塾」活性化委員会への先生方の意気込みが生徒に伝わっているようで大いに期待できます。

#### 第4 財務の概要 (計算書類、財産目録、経年比較表)

1. 令和3年度の計算書類(資金収支計算書、資金収支内訳表、事業活動収支計算書、事業活動収支内訳表、貸借対照表 等)

(1) 資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動における収入と支出の内容並びに支払資金の状況を明らかにしたものです

前年度繰越支払資金1億3314万余円を含めた令和3年度の収入の部合計は、14億8791万余円(前年度比3億7017万余円減)、支出の部合計は、15億1479万余円(前年度比2億1015万余円減)。この結果、令和4年度への繰越支払資金は2億3089万余円(前年度比9775万余円増)となった。

##### 資金収支計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:円)

収入の部	2020(R2)年度	2021(R3)年度	増減
学生生徒等納付金収入	442,225,051	455,498,384	13,273,333
手数料収入	11,901,200	12,395,600	494,400
寄付金収入	2,819,000	2,053,000	△ 766,000
補助金収入	623,854,097	431,899,900	△ 191,954,197
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	5,650	21,460	15,810
受取利息・配当金収入	207,693	155,379	△ 52,314
雑収入	45,416,283	12,009,916	△ 33,406,367
借入金等収入	240,900,000	0	△ 240,900,000
前受金収入	42,550,000	53,490,000	10,940,000
その他の収入	640,712,438	443,767,126	△ 196,945,312
資金収入調整勘定	△ 299,706,874	△ 56,516,034	243,190,840
前年度繰越支払資金	107,206,053	133,141,032	25,934,979
<b>収入の部合計</b>	<b>1,858,090,591</b>	<b>1,487,915,763</b>	<b>△ 370,174,828</b>

支出の部	2020(R2)年度	2021(R3)年度	増減
人件費支出	796,947,400	756,593,930	△ 40,353,470
教育研究経費支出	216,288,777	253,343,730	37,054,953
管理経費支出	74,367,464	39,047,237	△ 35,320,227
借入金等利息支出	434,603	1,186,029	751,426
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	487,468,775	11,002,090	△ 476,466,685
設備関係支出	37,516,332	39,177,760	1,661,428
資産運用支出	47,811,536	58,785,817	10,974,281
その他の支出	90,006,279	124,757,866	34,751,587
資金支出調整勘定	△ 25,891,607	△ 26,876,847	△ 985,240
翌年度繰越支払資金	133,141,032	230,898,151	97,757,119
<b>支出の部合計</b>	<b>1,858,090,591</b>	<b>1,487,915,763</b>	<b>△ 370,174,828</b>

0 0 0

繰越前支出額	1,724,949,559	1,514,792,610	△ 210,156,949
実支出額計	1,617,743,506	1,381,651,578	△ 236,091,928



資金収支内訳表

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入の部

(単位：円)

	昇陽高等学校	昇陽中学校	総 額
学生生徒等納付金収入	396,255,884	59,242,500	455,498,384
手数料収入	12,080,600	315,000	12,395,600
寄付金収入	1,948,000	105,000	2,053,000
補助金収入	393,030,018	38,869,882	431,899,900
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	19,102	2,358	21,460
受取利息・配当金収入	155,379	0	155,379
雑収入	11,752,243	257,673	12,009,916
借入金等収入	0	0	0
収入の部合計	815,241,226	98,792,413	914,033,639

支出の部

(単位：円)

人件費支出	697,608,517	58,985,413	756,593,930
教育研究経費支出	185,610,002	67,733,728	253,343,730
管理経費支出	34,041,440	5,005,797	39,047,237
借入金等利息支出	1,186,029	0	1,186,029
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	8,479,583	2,522,507	11,002,090
設備関係支出	37,997,468	1,180,292	39,177,760
支出の部合計	964,923,039	135,427,737	1,100,350,776

(2) 事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動の収入及び支出の内容並びに基本金組入後の均衡の状態を明らかにしたものです。

令和3年度の教育活動収支差額は△2億5382万余円(対前年度比2795万余円増)、教育活動外収支差額△103万余円(対前年度比△80万余円)で、経常収支差額は△2億5485万余円(対前年度比2715万余円)となった。

特別収支差額377万余円を含めた基本金組入前当年度収支差額は、△2億5108万余円(対前年度比△1億7971万余円)となった。この結果、前年度繰越収支差額に基本金組入額、取崩額を含めた翌年度繰越収支差額は、△14億3587万余円(対前年度比△2億6584万余円)となった。

**事業活動収支計算書**

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位：円)

		科 目	2020(R2)年度	2021(R3)年度	増減
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	442,225,051	455,498,384	13,273,333
		手数料	11,901,200	12,395,600	494,400
		寄付金	1,899,000	2,053,000	154,000
		経常費等補助金	416,039,097	428,038,900	11,999,803
		付随事業収入	5,650	21,460	15,810
		雑収入	43,589,283	12,009,916	△ 31,579,367
		教育活動収入計	915,659,281	910,017,260	△ 5,642,021
	支出の部	人件費	796,947,400	756,593,930	△ 40,353,470
		教育研究経費	297,992,434	359,985,414	61,992,980
		管理経費	102,420,518	42,335,316	△ 60,085,202
		徴収不能額等	83,215	4,930,433	4,847,218
	教育活動支出計	1,197,443,567	1,163,845,093	△ 33,598,474	
教育活動収支差額			△ 281,784,286	△ 253,827,833	27,956,453
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	207,693	155,379	△ 52,314
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	207,693	155,379	△ 52,314
	支出の部	借入金等利息	434,603	1,186,029	751,426
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	434,603	1,186,029	751,426
教育活動外収支差額			△ 226,910	△ 1,030,650	△ 803,740
経常収支差額			△ 282,011,196	△ 254,858,483	27,152,713
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	210,642,000	5,247,000	△ 205,395,000
		特別収入計	210,642,000	5,247,000	△ 205,395,000
	支出の部	資産処分差額	0	1,473,283	1,473,283
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	1,473,283	1,473,283
特別収支差額			210,642,000	3,773,717	△ 206,868,283
〔予備費〕					
基本金組入前当年度収支差額			△ 71,369,196	△ 251,084,766	△ 179,715,570
基本金組入額合計			△ 202,924,084	△ 20,001,084	182,923,000
当年度収支差額			△ 274,293,280	△ 271,085,850	3,207,430
前年度繰越収支差額			△ 895,736,159	△ 1,170,029,439	△ 274,293,280
基本金取崩額			0	5,244,958	5,244,958
翌年度繰越収支差額			△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331	△ 265,840,892

(参考)

事業活動収入計	1,126,508,974	915,419,639	△ 211,089,335
事業活動支出計	1,197,878,170	1,166,504,405	△ 31,373,765

事業活動収支内訳表

令和3年4月1日～令和4年3月31日

科 目		部 門		昇陽高等学校	昇陽中学校	総 額
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金		396,255,884	59,242,500	455,498,384
		手数料		12,080,600	315,000	12,395,600
		寄付金		1,948,000	105,000	2,053,000
		経常費等補助金		389,169,018	38,869,882	428,038,900
		付随事業収入		19,102	2,358	21,460
		雑収入		11,752,243	257,673	12,009,916
		教育活動収入計		811,224,847	98,792,413	910,017,260
	支出の部	人件費		697,608,517	58,985,413	756,593,930
		教育研究経費		280,521,101	79,464,313	359,985,414
		管理経費		37,000,876	5,334,440	42,335,316
		徴収不能額等		4,930,433	0	4,930,433
		教育活動支出計		1,020,060,927	143,784,166	1,163,845,093
	教育活動収支差額			△ 208,836,080	△ 44,991,753	△ 253,827,833
	教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金		155,379	0
その他の教育活動外収入				0	0	0
教育活動外収入計				155,379	0	155,379
支出の部		借入金等利息		1,186,029	0	1,186,029
		その他の教育活動外支出		0	0	0
		教育活動外支出計		1,186,029	0	1,186,029
教育活動外収支差額			△ 1,030,650	0	△ 1,030,650	
経常収支差額			△ 209,866,730	△ 44,991,753	△ 254,858,483	
特別収支	収入の部	資産売却差額		0	0	0
		その他の特別収入		5,247,000	0	5,247,000
		特別収入計		5,247,000	0	5,247,000
	支出の部	資産処分差額		1,473,283	0	1,473,283
		その他の特別支出		0	0	0
		特別支出計		1,473,283	0	1,473,283
特別収支差額			3,773,717	0	3,773,717	
基本金組入前当年度収支差額			△ 206,093,013	△ 44,991,753	△ 251,084,766	
基本金組入額合計			△ 20,001,084	0	△ 20,001,084	
当年度収支差額			△ 226,094,097	△ 44,991,753	△ 271,085,850	
(参考)						
事業活動収入計			816,627,226	98,792,413	915,419,639	
事業活動支出計			1,022,720,239	143,784,166	1,166,504,405	

- (3) 貸借対照表は、当該会計年度末における資産・負債・純資産を把握し財政状況を示すものです。

令和3年度の資産の部合計は、29億6882万余円(対前年度末比△2億5563万余円)。  
 負債の部合計は、3億7846万余円(対前年度末比△454万余円)。  
 純資産の部合計は、25億9035万余円(対前年度末比△2億5108万余円)である。

科 目	2020 (R2)年度	2021 (R3)年度	増減
固定資産	2,782,371,172	2,687,565,019	△ 94,806,153
有形固定資産	2,702,405,579	2,643,737,235	△ 58,668,344
特定資産	73,808,607	8,856,055	△ 64,952,552
その他の固定資産	6,156,986	34,971,729	28,814,743
流動資産	442,085,772	281,258,034	△ 160,827,738
資産の部合計	3,224,456,944	2,968,823,053	△ 255,633,891
固定負債	240,900,000	240,900,000	0
流動負債	142,118,253	137,569,128	△ 4,549,125
負債の部合計	383,018,253	378,469,128	△ 4,549,125
基本金	4,011,468,130	4,026,224,256	14,756,126
第1号基本金	3,932,613,159	3,927,368,201	△ 5,244,958
第3号基本金	8,854,971	8,856,055	1,084
第4号基本金	70,000,000	90,000,000	20,000,000
繰越収支差額	△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331	△ 265,840,892
純資産の部合計	2,841,438,691	2,590,353,925	△ 251,084,766
負債及び純資産の部合計	3,224,456,944	2,968,823,053	△ 255,633,891

- (4) 令和3年度 施設設備の整備状況

① 施設関係支出の内訳

支出科目	項目	金額 (円)
施設関係 支出	此花キャンパス 新北館 1F 中学校職員室 GHP 空調設備改修工事	2,376,000
	城山キャンパス グラウンド横クラブハウス 床工事	369,710
	城山キャンパス 体育館 教室室エアコン設置工事	779,900
	城山キャンパス クラブハウスエアコン設置工事	1,265,000
	昇陽塾床タイル貼り 工事(昇陽塾)	305,800
	新南館3階 EVホール パーテーション工事(昇陽塾)	1,650,000
	新南館3階 EVホール 電気・空調設備工事(昇陽塾)	2,530,000
	建物支出	9,276,410
	植栽他工事一式	999,900
	城山クラブハウス ロールすのこ敷設工事	393,800
	体育館出入口防球ネット設置工事	331,980
	構築物支出	1,725,680
施設関係支出 合計		11,002,090

② 設備関係支出の内訳

支出科目	項目	金額 (円)	
設備関係 支出	縦型冷凍庫 GRD-124FMD 1台	392,700	
	教室用机 PM-3000 天板ハニーチェリー 100台	495,000	
	教室用椅子 PM-4100 100脚	352,000	
	可搬式プロジェクタ10台追加一式(令和3年度私立高等学校等ICT教育設備推進事業)	15,950,000	
	デジタルサイネージ機器一式(令和3年度私立高等学校等ICT教育設備推進事業)	2,068,440	
	東芝オープンレンジ ER-VD100W 8台(製菓実習室)	550,000	
	Chromebook 40台(高校常設用)	1,632,400	
	ドローン3台 iPad5台他一式	473,000	
	会議テーブル MTS-1860TN 15台(カトリアホール用)	297,000	
	電源装置 PSW-6XF 10台	430,000	
	会議テーブル TWS-1860TN 12台	237,600	
	自習室1 エアコン更新工事	201,300	
	可搬式プロジェクタ3台追加一式	4,972,000	
	学籍簿保管庫 エーコー503G 2時間耐火 1台(教務用)	412,500	
	Chromebook 11台(高校常設用)	531,685	
	教室用机(PM-3000)・椅子(PM-4100) 各50名	429,000	
	サーモグラフィーカメラ 2台 AI顔認証サーモグラフィーカメラDC77	1,386,000	
	3輪スクリーン SR-53P 種子タイプ 12台	410,400	
	教室用机(PM-3000)・椅子(PM-4100) 各150台	1,287,000	
	3列8段24人用ロッカー SLC-24T-N2 25台(新南館の生徒用下足ロッカー)	1,347,500	
	その他 35件	3,024,995	
		<b>教育用機器備品 (55件)</b>	<b>36,880,520</b>
		パソコン LAVIE Direct DA (S) 10台	1,078,000
		その他 12件	779,240
		<b>管理用機器備品 (13件)</b>	<b>1,857,240</b>
		Siems 入試カスタマイズ	220,000
		Siems カスタマイズ(教務系)	220,000
		<b>ソフトウェア (2件)</b>	<b>440,000</b>
		<b>設備関係支出 合計 (70件)</b>	<b>39,177,760</b>

2. 財産目録

財 産 目 録

令和4年3月31日 現在

項目		金額 (円)
資産総額		2,968,823,053
内訳	基本財産	2,678,708,964
	運用財産	290,114,089
負債総額		378,469,128
正味資産		2,590,353,925

内訳区分		金額 (円)
基本財産	土 地 38,932.47 m <sup>2</sup>	219,694,791
	此花キャンパス 9,568.47 m <sup>2</sup>	137,899,148
	城山キャンパス 29,364.00 m <sup>2</sup>	81,795,643
	建 物 23,268.28 m <sup>2</sup>	2,058,182,723
	此花キャンパス 15,378.33 m <sup>2</sup>	
	城山キャンパス 7,889.95 m <sup>2</sup>	
	構造物	212,408,495
	教育用機器備品	122,174,116
	管理用機器備品	8,105,855
	図書	23,171,255
	電話加入権	424,865
	借地保証金	760,200
	ソフトウェア	3,786,664
	有価証券	30,000,000
基本財産計		2,678,708,964

運用財産	現金預金	230,898,151
	特定資産	8,856,055
	未収入金	13,793,738
	前払金	6,971,080
	立替金	761,568
	販売用品	48,764
	預り資産	28,784,733
運用財産計		290,114,089
資産総額		2,968,823,053

固定負債	長期借入金	240,900,000
流動負債	未払金	19,907,877
	前受金	53,490,000
	修学旅行等預り金	28,784,733
	その他の預り金	35,386,518
負債計		378,469,128

正味財産 (資産総額－負債総額)		2,590,353,925
------------------	--	---------------

3. 財務状況の経年比較表

2. 経年比較						
各年度5月1日現在 生徒数						
西暦	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
平成年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
昇陽中学1年生	29名	32名	32名	38名	29名	30名
昇陽中学2年生	30名	30名	29名	30名	37名	29名
昇陽中学3年生	33名	30名	29名	28名	30名	35名
<b>合計</b>	<b>92名</b>	<b>92名</b>	<b>90名</b>	<b>96名</b>	<b>96名</b>	<b>94名</b>
昇陽高校1年生	354名	361名	294名	246名	296名	319名
昇陽高校2年生	360名	319名	326名	266名	216名	268名
昇陽高校3年生	360名	342名	302名	291名	246名	199名
<b>合計</b>	<b>1074名</b>	<b>1022名</b>	<b>922名</b>	<b>803名</b>	<b>758名</b>	<b>786名</b>
<b>総合計</b>	<b>1166名</b>	<b>1114名</b>	<b>1012名</b>	<b>899名</b>	<b>854名</b>	<b>880名</b>

(1) 資金収支計算書							(単位：円)
収入の部	2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(H31)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	
学生生徒等納付金収入	465,414,214	476,277,127	435,771,979	390,083,780	442,225,051	455,498,384	
手数料収入	17,171,900	14,134,000	12,395,300	12,627,900	11,901,200	12,395,600	
寄付金収入	4,103,000	4,711,628	2,581,000	1,942,000	2,819,000	2,053,000	
補助金収入	610,783,926	576,820,993	537,559,499	489,806,216	623,854,097	431,899,900	
資産売却収入	0	0	0	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	55,800	32,950	32,960	29,565	5,650	21,460	
受取利息・配当金収入	447,594	336,834	368,643	367,557	207,693	155,379	
雑収入	14,127,865	22,189,088	24,004,112	37,151,673	45,416,283	12,009,916	
借入金等収入	0	0	0	0	240,900,000	0	
前受金収入	67,630,000	54,300,000	44,630,000	50,900,000	42,550,000	53,490,000	
その他の収入	228,718,391	136,151,456	143,149,397	471,136,692	640,712,438	443,767,126	
資金収入調整勘定	△ 78,535,886	△ 94,943,570	△ 66,233,804	△ 88,219,674	△ 299,706,874	△ 56,516,034	
前年度繰越支払資金	93,908,308	190,972,328	146,172,030	156,891,445	107,206,053	133,141,032	
<b>収入の部合計</b>	<b>1,423,825,112</b>	<b>1,380,982,834</b>	<b>1,280,431,116</b>	<b>1,522,717,154</b>	<b>1,858,090,591</b>	<b>1,487,915,763</b>	
支出の部	2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(H31)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	
人件費支出	631,611,716	659,040,343	684,731,935	743,283,636	796,947,400	756,593,930	
教育研究経費支出	228,505,783	236,848,446	243,718,228	247,403,511	216,288,777	253,343,730	
管理経費支出	26,394,120	24,929,809	27,465,569	34,502,345	74,367,464	39,047,237	
借入金等利息支出	0	0	0	0	434,603	1,186,029	
借入金等返済支出	0	0	0	0	0	0	
施設関係支出	673,542	4,848,000	14,678,658	242,225,755	487,468,775	11,002,090	
設備関係支出	12,188,770	29,236,954	11,891,704	40,247,283	37,516,332	39,177,760	
資産運用支出	249,700,431	205,194,291	77,297,325	33,038,882	47,811,536	58,785,817	
その他の支出	99,232,472	92,244,816	89,915,294	98,079,361	90,006,279	124,757,866	
資金支出調整勘定	△ 15,454,050	△ 17,531,855	△ 26,159,042	△ 23,269,672	△ 25,891,607	△ 26,876,847	
翌年度繰越支払資金	190,972,328	146,172,030	156,891,445	107,206,053	133,141,032	230,898,151	
<b>支出の部合計</b>	<b>1,423,825,112</b>	<b>1,380,982,834</b>	<b>1,280,431,116</b>	<b>1,522,717,154</b>	<b>1,858,090,591</b>	<b>1,487,915,763</b>	
	0	0	0	0	0	0	
繰越前支出額	1,232,852,784	1,234,810,804	1,123,539,671	1,415,511,101	1,724,949,559	1,514,792,610	
実支出額計	1,138,944,476	1,043,838,476	977,367,641	1,258,619,656	1,617,743,506	1,381,651,578	

(2) 事業活動収支計算書		(単位：円)						
科 目		2016 (H28) 年度	2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (H31) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	465,414,214	476,277,127	435,771,979	390,083,780	442,225,051	455,498,384
		手数料	17,171,900	14,134,000	12,395,300	12,627,900	11,901,200	12,395,600
		寄付金	4,103,000	2,757,000	2,581,000	1,942,000	1,899,000	2,053,000
		経常費等補助金	610,783,926	572,477,993	537,559,499	484,896,216	416,039,097	428,038,900
		付随事業収入	55,800	32,950	32,960	29,565	5,650	21,460
		雑収入	51,220,113	22,189,088	24,159,316	37,151,673	43,589,283	12,009,916
		教育活動収入計	1,148,748,953	1,087,868,158	1,012,500,054	926,731,134	915,659,281	910,017,260
	支出の部	人件費	623,316,216	659,040,343	684,731,935	743,283,636	796,947,400	756,593,930
		教育研究経費	302,616,948	307,758,093	315,421,235	318,979,919	297,992,434	359,985,414
		管理経費	27,641,351	26,555,169	29,788,145	37,388,755	102,420,518	42,335,316
		徴収不能額等	194,076	1,342,458	117,315	427,500	83,215	4,930,433
		教育活動支出計	953,768,591	994,696,063	1,030,058,630	1,100,079,810	1,197,443,567	1,163,845,093
	教育活動収支差額		194,980,362	93,172,095	△ 17,558,576	△ 173,348,676	△ 281,784,286	△ 253,827,833
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	447,594	336,834	368,643	367,557	207,693	155,379
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	447,594	336,834	368,643	367,557	207,693	155,379
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	434,603	1,186,029
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	434,603	1,186,029
教育活動外収支差額		447,594	336,834	368,643	367,557	△ 226,910	△ 1,030,650	
経常収支差額		195,427,956	93,508,929	△ 17,189,933	△ 172,981,119	△ 282,011,196	△ 254,858,483	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	2,496	6,305,674	42,255	4,910,000	210,642,000	5,247,000
		特別収入計	2,496	6,305,674	42,255	4,910,000	210,642,000	5,247,000
	支出の部	資産処分差額	2,861	0	0	0	0	1,473,283
		その他の特別支出	1,695,000	0	0	0	0	0
		特別支出計	1,697,861	0	0	0	0	1,473,283
特別収支差額		△ 1,695,365	6,305,674	42,255	4,910,000	210,642,000	3,773,717	
〔予備費〕								
基本金組入前当年度収支差額		193,732,591	99,814,603	△ 17,147,678	△ 168,071,119	△ 71,369,196	△ 251,084,766	
基本金組入額合計		△ 13,990,509	△ 8,029,490	△ 101,223	△ 231,523,363	△ 202,924,084	△ 20,001,084	
当年度収支差額		179,742,082	91,785,113	△ 17,248,901	△ 399,594,482	△ 274,293,280	△ 271,085,850	
前年度繰越収支差額		△ 752,780,264	△ 573,038,182	△ 481,253,069	△ 496,141,677	△ 895,736,159	△ 1,170,029,439	
基本金取崩額		0	0	2,360,293	0	0	5,244,958	
翌年度繰越収支差額		△ 573,038,182	△ 481,253,069	△ 496,141,677	△ 895,736,159	△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331	
(参考)								
事業活動収入計		1,149,199,043	1,094,510,666	1,012,910,952	932,008,691	1,126,508,974	915,419,639	
事業活動支出計		955,466,452	994,696,063	1,030,058,630	1,100,079,810	1,197,878,170	1,166,504,405	



(3) 貸借対照表		(単位：円)				
科 目	2016(H28)年度末	2017(H29)年度末	2018(H30)年度末	2019(H31)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
固定資産	2,888,400,541	3,009,941,405	3,002,632,105	2,854,186,042	2,782,371,172	2,687,565,019
有形固定資産	2,169,887,885	2,129,775,126	2,076,575,399	2,285,437,416	2,702,405,579	2,643,737,235
特定資産	717,327,591	877,328,814	917,431,304	560,966,383	73,808,607	8,856,055
その他の固定資産	1,185,065	2,837,465	8,625,402	7,782,243	6,156,986	34,971,729
流動資産	261,598,734	225,500,515	211,591,080	191,380,830	442,085,772	281,258,034
資産の部合計	3,149,999,275	3,235,441,920	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053
固定負債	0	0	0	0	240,900,000	240,900,000
流動負債	151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	142,118,253	137,569,128
負債の部合計	151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	383,018,253	378,469,128
基本金	3,571,250,263	3,579,279,753	3,577,020,683	3,808,544,046	4,011,468,130	4,026,224,256
第1号 基本金	3,492,500,185	3,500,528,452	3,498,168,159	3,729,690,299	3,932,613,159	3,927,368,201
第3号 基本金	8,750,078	8,751,301	8,852,524	8,853,747	8,854,971	8,856,055
第4号 基本金	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000	90,000,000
繰越収支差額	△ 573,038,182	△ 481,253,069	△ 496,141,677	△ 895,736,159	△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331
純資産の部合計	2,998,212,081	3,098,026,684	3,080,879,006	2,912,807,887	2,841,438,691	2,590,353,925
負債及び純資産の部合計	3,149,999,275	3,235,441,920	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053

(4) 財産目録		財 産 目 録					
項目		平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在	令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在
		金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
資産総額		3,149,999,275	3,195,630,004	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053
内訳	基本財産	2,171,072,950	2,092,800,675	2,085,200,801	2,293,219,659	2,708,562,565	2,678,708,964
	運用財産	978,926,325	1,102,829,329	1,129,022,384	752,347,213	515,894,379	290,114,089
負債総額		151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	383,018,253	378,469,128
正味財産		2,998,212,081	3,058,214,768	3,080,879,006	2,912,807,887	2,841,438,691	2,590,353,925
内訳区分		金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)	金額(円)
基本財産	土 地 38,932.47㎡	219,694,791	219,694,791	219,694,791	219,694,791	219,694,791	219,694,791
	此花キャンパス 9,568.47㎡	204,494,791	204,494,791	204,494,791	137,899,148	137,899,148	137,899,148
	城山キャンパス 29,364.00㎡	15,200,000	15,200,000	15,200,000	81,795,643	81,795,643	81,795,643
	建 物 23,268.28㎡	1,821,458,367	1,732,121,031	1,732,121,031	1,705,951,176	2,125,791,790	2,058,182,723
	此花キャンパス15,378.33㎡	1,645,958,367	1,564,005,013				
	城山キャンパス 7,889.95㎡	175,500,000	168,116,018				
	建設仮勘定	0	0	0	45,730,158	0	0
	構築物	44,826,292	41,026,772	36,945,893	200,790,312	223,475,153	212,408,495
	教育用機器備品	48,746,070	62,692,947	53,397,037	79,704,359	100,751,341	122,174,116
	管理用機器備品	10,825,678	9,955,058	9,772,109	8,922,082	8,047,966	8,105,855
	図書	24,336,687	24,472,611	24,644,538	24,644,538	24,644,538	23,171,255
	電話加入権	424,865	424,865	424,865	424,865	424,865	424,865
	借地保証金	760,200	760,200	760,200	760,200	760,200	760,200
	ソフトウェア		1,652,400	7,440,337	6,597,178	4,971,921	3,786,664
有価証券						30,000,000	
基本財産計		2,171,072,950	2,092,800,675	2,085,200,801	2,293,219,659	2,708,562,565	2,678,708,964
運用財産	現金預金	190,972,328	146,172,030	156,891,445	107,206,053	133,141,032	230,898,151
	特定資産	717,327,591	877,328,814	917,431,304	560,966,383	73,808,607	8,856,055
	未収入金	13,021,867	25,971,112	10,629,235	43,044,859	253,951,999	13,793,738
	前払金	6,613,092	6,558,790	6,561,258	7,614,790	6,968,970	6,971,080
	立替金	1,234,346	1,528,832	238,800	410,600	181,100	761,568
	販売用品	58,331	76,683	75,507	66,869	32,359	48,764
	預り資産	49,698,770	45,193,068	37,194,835	33,037,659	47,810,312	28,784,733
運用財産計		978,926,325	1,102,829,329	1,129,022,384	752,347,213	515,894,379	290,114,089
資産総額		3,149,999,275	3,195,630,004	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053
固定負債	長期借入金					240,900,000	240,900,000
流動負債	未払金	7,686,966	10,918,763	19,600,252	16,708,414	18,276,817	19,907,877
	前受金	67,630,000	54,300,000	44,630,000	50,900,000	42,550,000	53,490,000
	修学旅行等預り金	49,698,770	45,193,068	37,194,835	33,037,659	47,810,312	28,784,733
	その他の預り金	26,771,458	27,003,405	31,919,092	32,112,912	33,481,124	35,386,518
負債計		151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	383,018,253	378,469,128
正味財産(資産総額-負債総額)		2,998,212,081	3,058,214,768	3,080,879,006	2,912,807,887	2,841,438,691	2,590,353,925
		0	0	0	0	0	0

## 第5 監事監査報告書

### 監 事 監 査 報 告 書

令和4年5月25日

学校法人 淀之水学院

理事長 竹下 健治 様

理事会 議 長 様

評議員会 議 長 様

学校法人 淀之水学院

監事 宮田 正一 ㊟

監事 中條 伊代子 ㊟

私たちは、学校法人淀之水学院 の監事として、理事会、評議員会及びその他の重要な会議に出席するほか、私立学校法第37条第3項及び学校法人淀之水学院寄附行為第13条の規定に基づいて同学院の令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表)を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人淀之水学院の令和4年3月31日現在の財産目録及び計算書類を含め、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以上

第6 中長期計画 SHOYO NEXT 10YEARS [ 22-27 PLAN ]

令和4年3月31日理事会・評議員会決議

SHOYO NEXT 10YEARS [22-27PLAN]

人々のために生きる  
～求められ貢献できる人材づくり～




2024年(令和6年)に学校法人淀之水学院も創立100周年を迎えます。

建学の精神である「奉仕のこころ」および教育方針である「For Others」が体现できる

グローバルに求められ貢献できる人材の育成を目指しています。

さらなる飛躍と発展のため、本校の10年後(前期5年・後期5年)のあるべき姿を

中長期計画ビジョンとして策定しました。

 学校法人 淀之水学院

 昇陽中学校  昇陽高等学校

## SHOYO NEXT 10 YEARS

### 策定にあたって



学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校  
理事長・校長 竹下健治

ここに学校法人淀之水学院中長期計画「SHOYO NEXT 10YEARS」を策定する運びになりました。

本校は、2024年に創立100年を迎えます。長年にわたり、本校を支えていただいた方々に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

さて、本校は、建学の精神である「奉仕のこころ」、また教育方針である「For Others」の精神で世界の人のために生き、人々から求められ貢献できる人材の育成を目指してきました。たとえて言うならば、「一隅を照らす人」を育成したいと思っております。リーダーのあり方も時代と共に変化します。どんな環境であっても、人々と共にあり、人々を照らす存在になってほしい、そのような新しいリーダーを育成したいと思っております。そのために、今後も教育理念と教育方針を明確にし、それを確実に実行することで本学を継続・発展させたいと思っております。

しかし、昨今の私学を取り巻く環境は、たいへん厳しいものがあります。グローバル化や情報化の急激な進展、少子高齢化、日本経済の衰退など日本が抱える課題・問題は深刻で、教育環境に様々な影響を与えております。

特に、インターネットやAI（人工知能）の出現により、様々な仕事が機械に置き換わるだけでなく、高度な知的労働までAI（人工知能）に代替される日が来ると予想されます。求められる人材や教育のあり方も変わり、教育内容や方法に抜本的な革新が必要です。多様な価値を認め、正解のない問いに向き合い、自ら設定した課題に挑戦できる人材でなければ生き残れないかもしれません。そのような時代であるが故に、これからも高い理念と志をもち、将来の目標とそれに向けた改革をきっかけ、たゆまぬ前進と挑戦が不可欠となるでしょう。また、そのような学び舎であるためにも学院の経営基盤の強化・安定も必要です。

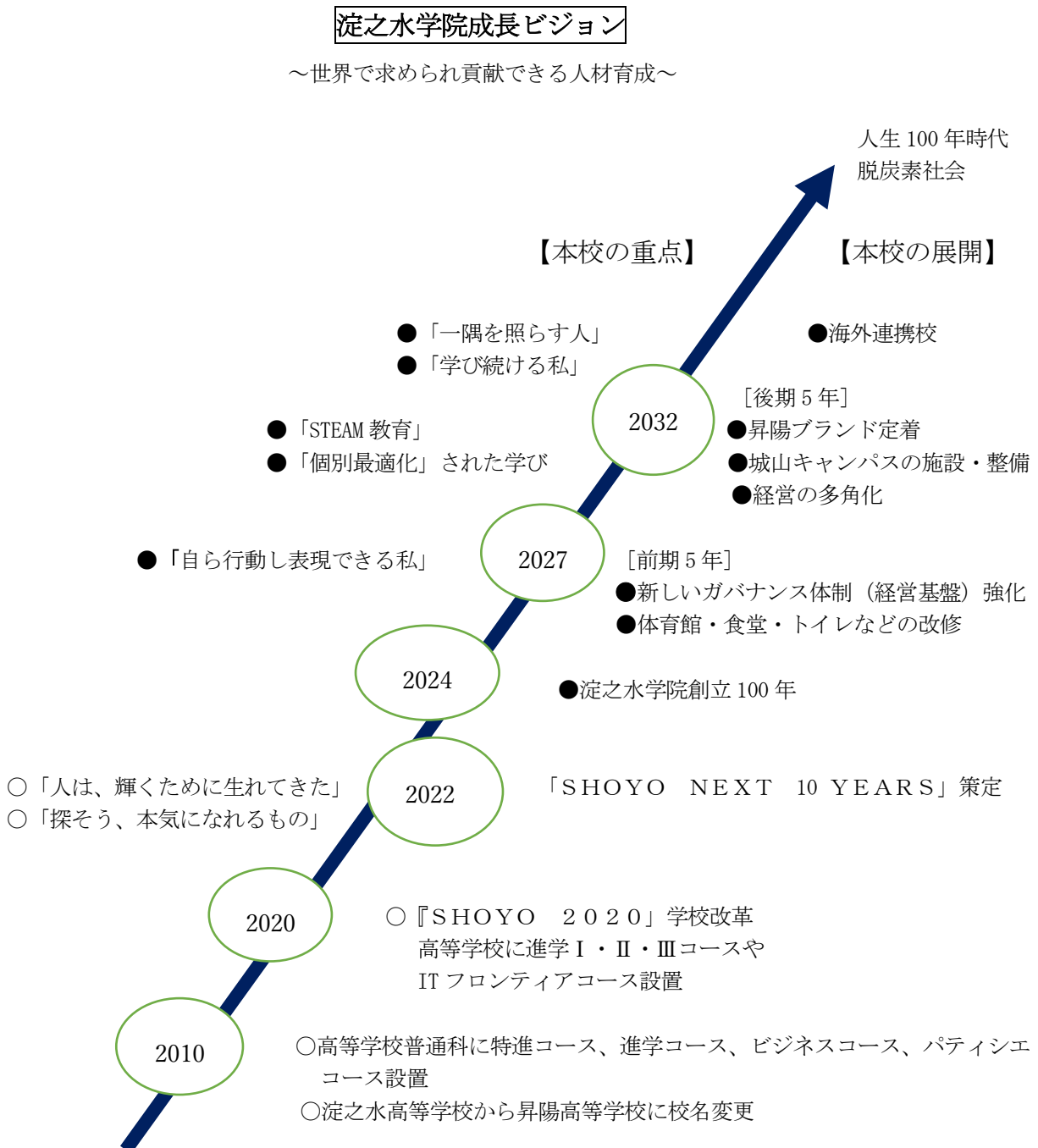
この「SHOYO NEXT 10YEARS」は、その成長・発展の道しるべであるとともに、本学院が社会へ果たすべき責務であると思っております。学校の存在が、人々の幸せの基盤であり、人々の幸せに寄与することが、本学院の建学の精神を遂行することでもあります。「SHOYO NEXT 10 YEARS」策定により、今後、10年間で果たすべき目標と責務を示すとともに、皆様には今後ともご理解とご支援のほど、よろしく願いいたします。

□ 学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校の責務

淀之水学院は、大正13年に創立され、以来およそ100年間大阪の地で実学を中心に教育を実践してきました。また、その市民精神を受け継ぎながら、社会に貢献できる人材育成を目指してきました。現在、日本は、少子高齢化や経済的な衰退など大きな転換期にあります。

これからも学校の使命を果たしながら、さらに将来の市民生活に活躍できる「知・徳・体」のバランスのとれた人材育成を行いたいと思っています。そのための基盤的な学力や健全な価値観やレジリエンス（やり抜く力）の育成を本校の責務としています。

また、私学ならではの先進的で独自性ある生徒育成を果たすために、生徒募集を維持・強化し学院としての経営基盤を確立する必要があります。



## 昇陽が育てたい力

- ① グローバル英語力と IT スキル (時代を生き抜く力)
- ② 主体的で論理的に考える力 (社会を生き抜く力)
- ③ 多様な価値観とレジリエンス (他者を認め、やり抜く力)
- ④ 寛容の精神と奉仕のこころ (「一隅を照らす人」)

## □ 淀之水学院の理念

- 1 建学の精神 奉仕のこころ
- 2 教育方針 For Others～志高く～
- 3 校訓 清純・質実
- 4 校章 カトレヤ (洋蘭)

## □ 淀之水学院の改革

### 改革1 健全で安定した経営を目指します

理事長、校長を中心とした各組織の下、ガバナンスが発揮され、学院全体として健全で安定した経営を目指します。また、その財政基盤となる生徒募集を強化するために、生徒育成の実績を上げ、生徒から入学したいと思われる魅力的で充実した学校を目指します。

### 改革2 時代の先進校を目指します

常に、先進で新しい教育プログラムを模索・実践し、ICT教育や情報教育をさらに充実させ、ハイブリッド授業や反転授業を一部導入して、学事暦の変更も検討します。また、地域や大学等と連携し、学外での学びを積極的に行い、イングリッシュ・キャンプや海外研修、海外姉妹校連携などの国際教育を推進します。このような中から、個々の生徒に対して個別最適化された教育を実践します。

### 改革3 生徒が学びやすく向上できる学校を目指します

朝のHRの朝学から放課後講習、土曜講習、長期休業日講習、進学合宿、放課後の自学自習と個別学習支援を柱とする「昇陽塾」まで、基盤的学力から応用的学力まで生徒の潜在的能力を伸長させ、自信や自己達成感を醸成させます。また、中学校・高等学校8コースの特色ある教育課程、体験学習、実習体験や学校行事や文武両道の各部活動などで「見えない学力(教養、論理力、発信力など)」やレジリエンス(やり抜く力)を育成し、面倒見がよく徹底して生徒育成にこだわる学校を目指します。

また、創立100周年記念事業として体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修など生徒にとって学びやすい学習環境とするために新たな施設・整備を行います。

## □ 淀之水学院の約束

### 約束1 「For Others」の精神を育てます

本学の教育方針である「For others」の精神は、8コース全てに共通の理念であり、他者と共に生きるための資質・能力や健全な価値観やレジリエンス（やり抜く力）を育成します。また、「For Others」活動を推進し、主権者教育やSDGs教育を通じて健全なシチズンシップを育成します。そして、どのような状況や環境であっても、周りを照らす人、すなわち「一隅を照らす人」となり、他者を支える事のできるリーダーシップを育成します。

### 約束2 3つのフィールド、8つのコースで将来の夢に向かって、進路実現をサポートします

本校は、3つのフィールド（進学フィールド、文武両道フィールド、キャリアフィールド）が重なり、8つのコース（特進コース、進学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲコース、看護・医療系進学コース、保育教育コース、ビジネス/公務員チャレンジコース、ITフロンティアコース、パティシエコース、福祉コース）できめ細かく人材育成を果たします。

「人は輝くために生れてきた」のスローガンの下、「輝く進路実現」を目指しています。そのために、8コース編成を常に最適に改編し、先進の教育プログラムや熟練した教職員の支援の下、難関大学合格からキャリア実現まで将来の人材育成と生徒の進路実現を目指します。

コース名	進学	文武 両道	キャ リア	国 公立 大学	難 関 私 立 大 学	一 般 私 立 大 学	推 薦 入 試 （ ス ポ ー ツ 推 薦 含 ）	公 務 員	専 門 学 校	ビ ジ ネ ス	プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル ・ ビ ジ ネ ス
特進	○			●	●						
進学 進学Ⅰ	○			●	●	●	●				
進学Ⅱ		○			●	●	●				
進学Ⅲ		○		●	●	●	●				
看護医療系進学	○			●	●	●	●		●		
ビジネス/公務員チャレンジ			○			●	●	●	●	●	●
ITフロンティア	○				●	●	●		●		●
パティシエ			○		●	●	●		●	●	●
保育教育	○				●	●	●			●	
福祉			○			●	●			●	●

### 約束3 教職員は、各々の評価基準やコンプライアンスに基づいて職務遂行します

全ての教職員は、生徒育成を旨として、先進の教育を学び研修し、教職員各々の評価基準を目標として職務遂行します。また、本学の行動規範である「昇陽スタンダード」に従い、コンプライアンスを遵守します。

今後計画するアクションプランに対して、評価指標を設定し、そのエビデンスを基に、職務・業務を評価し、意思・行動決定します。

## □ 評価指標

### 1 教育内容の質転換とグローバル対応

- ・英語の外部検定試験（英検、GTEC）
- ・海外留学、海外研修プログラムなど国際交流の促進
- ・高等学校基礎学力テスト等の分析・検討
- ・ICT教育事例やアクティブラーニング型プログラム件数

### 2 教員の指導力向上と進路指導の充実

- ・昇陽スタンダードの策定と改定
- ・校内・校外教職員研修件数
- ・「高大接続改革」「大学入試改革」への対応
- ・「新学習指導要領」への対応
- ・生徒のキャリアビジョン形成度
- ・国公立大学および最難関私立大学等への現役合格者数

### 3 昇陽で学ぶ

- ・昇陽中学校・高等学校の志願者数
- ・学校教育自己診断の生徒・保護者の学校満足度
- ・社会貢献や地域連携につながる取組み
- ・部活動の参加率
- ・教育環境の整備・充実

### 4 昇陽を守る

- ・財政基盤の確立
- ・防災教育とセキュリティ体制の確立
- ・既存施設の安全確認



## □ 淀之水学院の歩み

### これまでの歩み

大正13年3月27日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」設立 創立者吉川竹三郎
大正14年2月21日	高等女学校令による「淀之水高等女学校」設立認可され大阪市此花区西島町に校地を移転
昭和19年5月2日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任
昭和23年4月1日	大阪府知事より「淀之水高等学校」設立を認可
昭和24年4月1日	現在地(元 大阪市此花区嬉ヶ崎町一番地)に新校舎完成移転
昭和26年3月8日	財団法人淀之水高等学校を「学校法人淀之水学院」に組織変更認可
昭和43年4月1日	商業科を設置
平成6年4月1日	普通科に普通コース・英語コース、商業科に商業コース・情報コースを設置
平成11年4月1日	福祉科を設置
平成16年4月1日	商業科の募集停止
平成16年4月1日	普通科に総合(進学・一般)コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コースを設置
平成17年4月1日	普通科に特進・国際コース・標準コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置
平成19年4月1日	普通科に特進コース・標準コース・パティシエコースを設置
平成20年6月30日	大阪府から城山キャンパスグラウンドの土地 9,255㎡を購入
平成21年4月1日	大阪府知事より淀之水学院昇陽中学校設立を認可され開校
平成22年4月1日	学校名を昇陽中学校、昇陽高等学校に変更
平成22年4月1日	普通科の特進・標準(進学)コースのみ男女共学
平成23年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・パティシエコース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置
平成23年4月1日	大阪府から城山キャンパス体育館・校舎の土地 20,109㎡を購入
平成24年4月1日	高校全コース男女共学
平成27年3月30日	東館(3,587㎡)竣工
平成27年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置
令和2年1月30日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656㎡
令和2年4月1日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200㎡
令和2年4月1日	普通科にITフロンティアコース、進学Ⅱ・Ⅲを設置
令和2年12月16日	南西館耐震改修工事完了
令和3年1月22日	城山体育館耐震改修工事完了
令和6年	淀之水学院 創立100周年を迎える